



東北地域の和食文化メールマガジン

令和 7 年 11 月 28 日 (金) 第 78 号



【目次】

- 1．農林水産省 新たな和食普及プロジェクト「楽しもう！にほんの味。」の始動について
- 2．農林水産省 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」第 12 回選定結果の公表について
- 3．東北農政局 「令和 7 年度東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の選定結果について
- 4．農福連携等応援コンソーシアム（事務局：農林水産省） 「ノウフク・アワード 2025」選定結果の公表について
- 5．農林水産省 NIPPON FOOD SHIFT FES.福岡 2025 の開催について
- 6．農林水産省 「しりうちなら北の華」をはじめとする 3 産品を、地理的表示（GI）として登録
- 7．一般社団法人全国食の甲子園協会 「第 14 回ご当地！絶品うまいもん甲子園」開催結果について
- 8．農林水産省 Web マガジン「aff（あふ）」 11 月号

=====

- 1．農林水産省 新たな和食普及プロジェクト「楽しもう！にほんの味。」の始動について

=====

農林水産省では、令和 7 年 11 月 1 日（土曜日）から、官民協働による新たな和食普及プロジェクト「楽しもう！にほんの味。～和のこころをつなぐ食の国民運動～」(略称：楽し味(たのしみ)プロジェクト)を展開します。

和食文化の魅力を広めるため、情報発信やイベント企画、地域食材の活用などとさまざまな取組を一緒に進めていただけるプロジェクトメンバーを募集しています。

ご賛同いただける企業・団体等は、下記のリンクから規約等、詳細をご一読の上、お申し込みください。

プロジェクトメンバーの皆さまは、商品やポスター等にロゴマークをご利用いただけます。

【農林水産省HP】詳細はこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/251031.html>

【農林水産省HP】プロジェクトの概要、プロジェクトメンバーへの申請はこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/enjoy-washoku/index.html>

=====

- 2．農林水産省 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」第 12 回選定結果の公表について

=====

農林水産省及び内閣官房は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の地域資源を引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を

選定し、全国へ発信することとしています。

令和7年11月18日（火曜日）に開催された「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第12回選定）有識者懇談会において、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例30地区を選定し、このうち特に優秀な事例については、グランプリ及び優秀賞として決定しました。

東北からは、以下の5団体1個人が優良事例として選定されました。

「水口清人」（青森県平川市、個人部門）

「株式会社スタディア」（岩手県滝沢市、ビジネス・イノベーション部門）

「宮城県農業高等学校 農業科作物部門」（宮城県名取市、ビジネス・イノベーション部門）

「特定非営利活動法人 SCR」（宮城県富谷市、コミュニティ・地産地消部門）

「紅花推進協議会」（山形県山形市、ビジネス・イノベーション部門）

「庄内赤川土地改良区」（山形県鶴岡市・三川町・酒田市、コミュニティ・地産地消部門）

【農林水産省HP】詳細はこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/251118.html>

=====

3．東北農政局 令和7年度東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の選定結果について

=====

農林水産省及び内閣官房が募集した「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第12回選定）の応募のあった事例の中には、選定された事例以外にも優れた取組があることから、東北農政局でも、東北独自の特徴ある優れた取組について、令和7年度東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定委員会を開催し、5団体1個人を選定し、奨励賞として9団体を選定しました。

「ふじさき食彩テラス」（青森県藤崎町、ビジネス・イノベーション部門）

「いさわ農村活性化推進協議会」（岩手県奥州市、ビジネス・イノベーション部門）

「道の駅ひらた「日本一辛い村プロジェクト」」（福島県平田村、ビジネス・イノベーション部門）

「福島ユナイテッドFC 農業部」（福島県福島市、ビジネス・イノベーション部門）

「株式会社風鈴」（秋田県東成瀬村、ビジネス・イノベーション部門）

「菊地晃生」（秋田県潟上市、個人部門）

【東北農政局HP】その他の選定地区、詳細はこちらから

<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/nouson/nousonsinkou/251119.html>

=====

4．農福連携等応援コンソーシアム（事務局：農林水産省） 「ノウフク・アワード2025」選定結果の公表について

=====

農福連携等応援コンソーシアム（事務局：農林水産省）では、農福連携に取り組んでいる優れた事例を「ノウフク・アワード」として表彰し、全国への普及を推進しています。

農福連携とは、農業と福祉が連携し、障害者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組です。

このたび、全国各地で農福連携等に取り組んでいる団体・企業や個人などから取組事例を募集し、

応募のあった 215 団体の中から、優れた事例をノウフク・アワード 2025 として選定しました。
東北からは、1 団体が優秀賞、2 団体がフレッシュ賞、2 団体がチャレンジ賞を受賞しました。
優秀賞

- ・株式会社エール 多機能型事業所にじのいる（青森県板柳町）

フレッシュ賞

- ・社会福祉法人みんなの輪 あいあいファームわ・は・わ田尻 ひなた農場（宮城県大崎市）
- ・株式会社みずほライス（秋田県横手市）

チャレンジ賞

- ・株式会社きりん きりんの里（青森県平川市）
- ・株式会社風鈴（秋田県東成瀬村）

【農林水産省HP】詳細はこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/251125.html>

【農林水産省HP】農福連携の詳細はこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/noufuku/index.html>

=====

5．農林水産省 NIPPON FOOD SHIFT FES.福岡 2025 の開催について

=====

農林水産省は、消費者に日本の「食」と「農」を取り巻く課題を身近なものとして考えてもらうための国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を展開しています。

その取組の一つとして、農林漁業者や食品事業者と消費者とをつなぎ、日本の「食」や「農」をめぐる事情や課題を共に考えるイベント「食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT FES.福岡 2025」を令和 7 年 12 月 7 日(日曜日)に、GARDENS CHIHAYA ちはや公園センターガーデンにおいて開催します。

【開催概要】

日時：令和 7 年 12 月 7 日（日曜日）10 時から 16 時まで

会場：GARDENS CHIHAYA ちはや公園センターガーデン（福岡県福岡市東区千早 3-6-7）

主なイベント内容：

- ・味噌作りやオリーブオイル絞り等のワークショップ
- ・「食と農をつなぐアワード」、「FOOD SHIFT セレクション」の受賞取組・受賞産品紹介
- ・推進パートナーや地域食材・地域産品の生産者によるマルシェ、キッチンカー出店
- ・九州農政局の取組紹介

【外部リンク：特設サイト】詳細はこちらから

https://nippon-food-shift.maff.go.jp/2025/fes_fukuoka.html

【外部リンク：関連サイト】食から日本を考える。ニッポンフードシフト公式 Web サイト

<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/>

=====

6．農林水産省 「しりうちになら北の華」をはじめとする 3 産品を、地理的表示（GI）として登録

=====

農林水産省は、令和 7 年 11 月 17 日、しりうちにら北の華（北海道） 宍道湖産ヤマトシジミ・宍道湖しじみ（島根県） 沖縄黒糖（沖縄県）を地理的表示（GI）として登録しました。

なお、今回の登録により、日本国内の GI 登録産品は 164 産品になりました。

【農林水産省 HP】詳細はこちらから

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/251117.html

【農林水産省 HP】地理的表示（GI）保護制度の詳細はこちらから

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/

=====

7．一般社団法人全国食の甲子園協会 「第 14 回ご当地！絶品うまいもん甲子園」開催結果について

=====

一般社団法人全国食の甲子園協会では、現在、食、農林漁業を取り巻く環境は、震災、後継者不足、不景気等々、非常に厳しい状況だと考え、高校生が夢を持ち行動し、その夢を応援する事が今の日本にとって、とても大切だと考え、「ご当地！絶品うまいもん甲子園」を企画されました。

「第 14 回ご当地！うまいもん甲子園」決勝大会が 11 月 3 日に東京都で開催され、昨年に続き、弘前実業高校家庭科学科チーム（青森県）が優勝し、2 年連続で農林水産大臣賞を受賞しました。授賞した料理は、青森県津軽地方に伝わる郷土料理「すしこ」を使った料理「じゃわ愛（めぐ）すしこパフェ」です。

【外部リンク】詳細はこちらから

<https://www.umaimonkoshien.com/>

=====

8．農林水産省 Web マガジン「aff（あふ）」 11 月号

=====

農林水産省では毎月、Web マガジン「aff」を発行しています。

11 月号のテーマは「米」です。

2024 年 8 月に始まった「米の指数先物取引」や、中食・外食界で注目を集める「多収性品種の米」等について紹介しています。

【農林水産省 HP】「aff」11 月号はこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

=====

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局 東北農政局経営・事業支援部食品企業課 担当：平山

TEL：022-263-1111（内 4572）

メールアドレス：keisyonw-tohoku@maff.go.jp

東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

農林水産省の Web サイト（和食文化ネットワーク）

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

東北農政局 Web サイト（和食文化ネットワーク）

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/syokubunka/washokubunkanetwork.html>